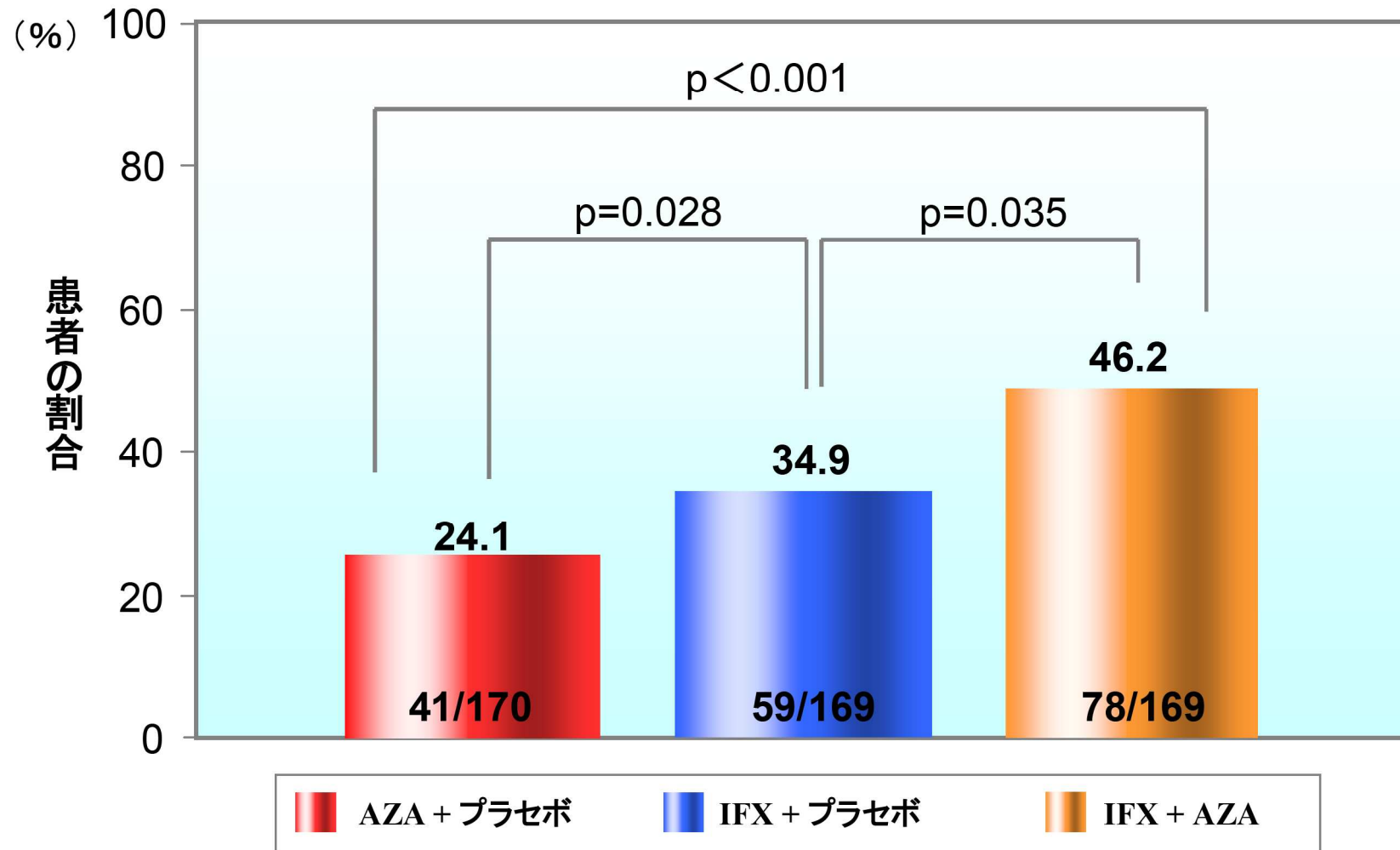


ステロイドフリー寛解 (50週時)



無作為化された全症例 (508例) を解析対象とし、延長試験に参加しなかった患者はNon-Responderとみなした。

結語

- 免疫調節剤および生物学的製剤未使用の中等度から重度のクローン病患者について、AZA単剤群よりも、IFX単剤群、IFX+AZA併用群が有意差を持ってステロイドフリー寛解率が高いことが示された。
- 有害事象についてAZA単剤群に比べて、IFX単剤群、IFX・AZA併用群で有害事象が増加しなかった。

当院のクローン病

症例: 51例

男女比: 1.7 (男性: 32例 女性: 19例)

平均罹病期間: 11年 (1-30年)

平均年齢: 38歳 (15-77歳)

発症年齢: 20歳以下 24例

21歳以上30歳以下 16例

31歳以上40歳以下 4例

41歳以上50歳以下 5例

51歳以上 2例

病型分類: 小腸大腸型: 63% (32/51)

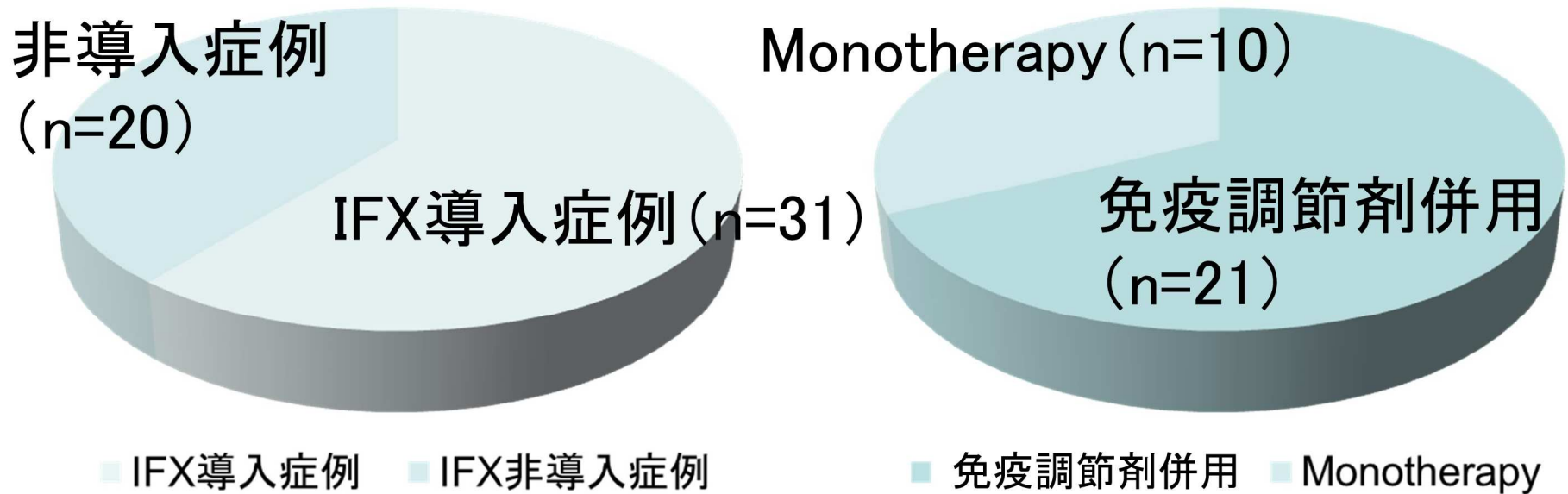
小腸型:

16% (8/51)

大腸型:

16% (8/51)

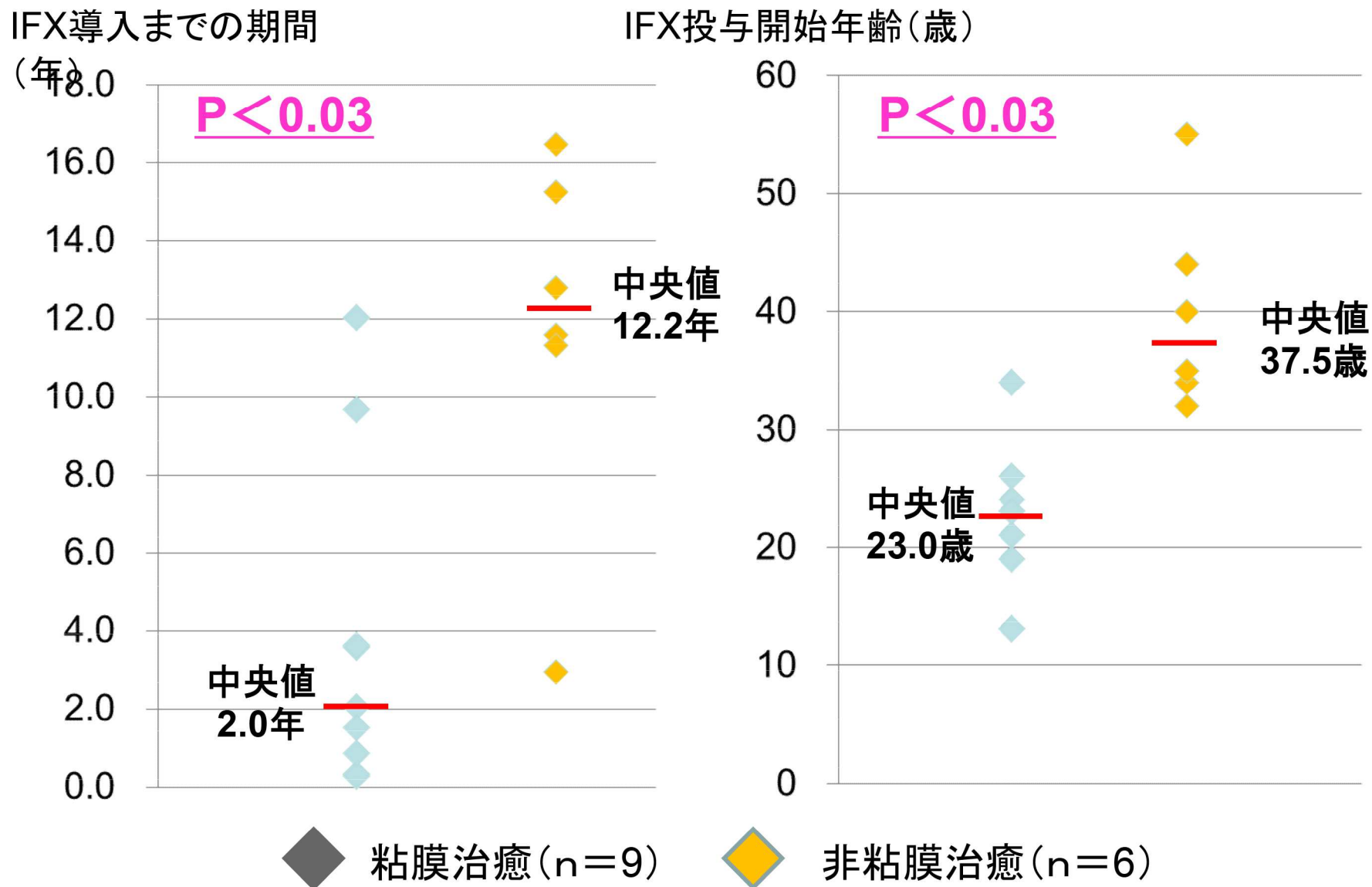
Infliximab (IFX) 治療



Infliximab導入率 61% (31/51)

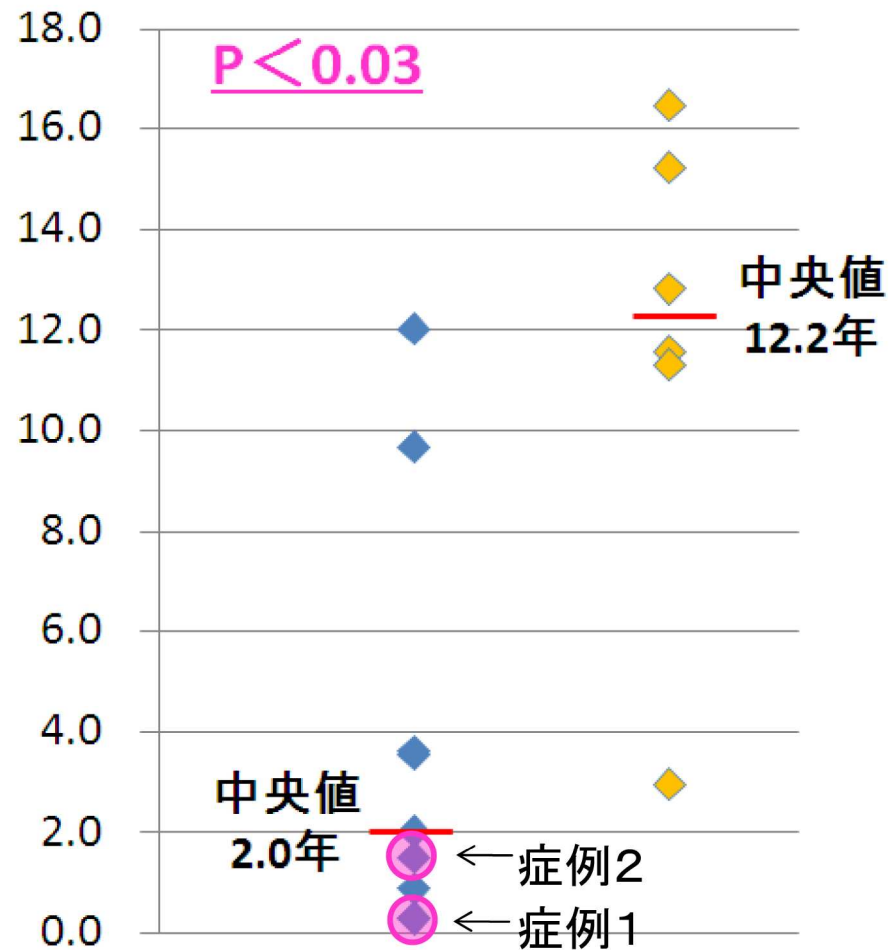
免疫調節劑併用率 68% (21/31)

IFX投与1年の大腸、終末回腸の粘膜治癒の検討

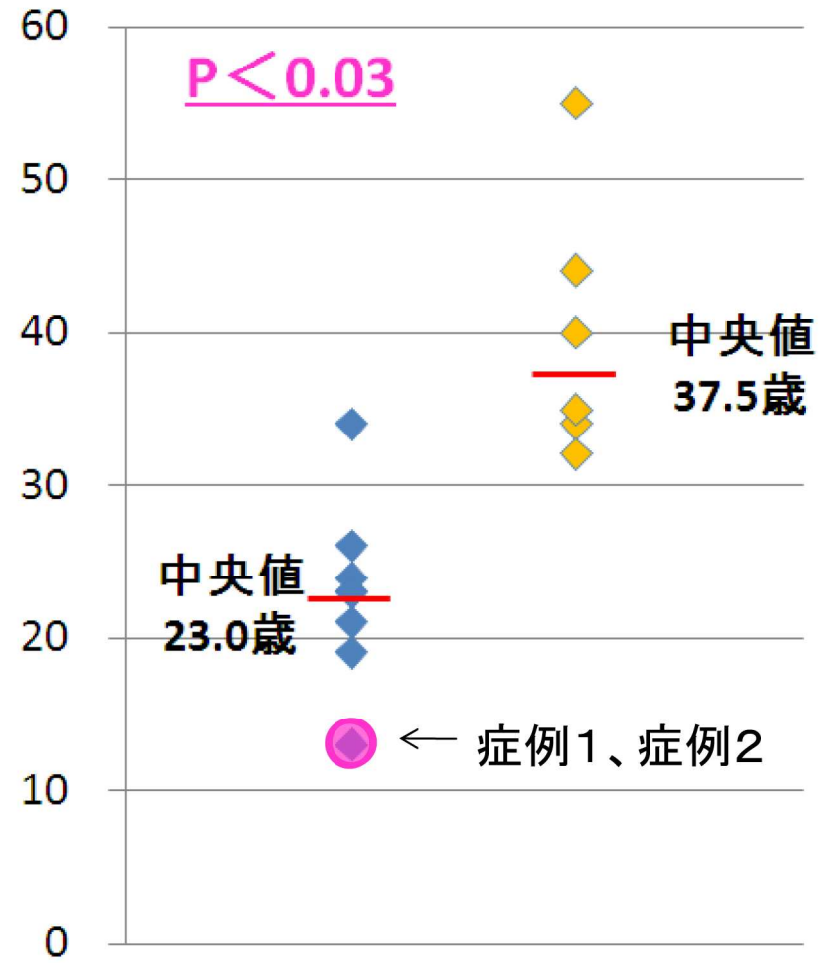


IFX投与1年の大腸、終末回腸の粘膜治癒の検討

IFX導入までの期間(年)



IFX投与開始年齢(歳)



◆ 粘膜治癒 (n=9)

◆ 非粘膜治癒 (n=6)